

湖底ごみ除去活動 ごみ分析調査

実施日 令和4年11月12日(土)
主催 赤野井湾再生プロジェクト

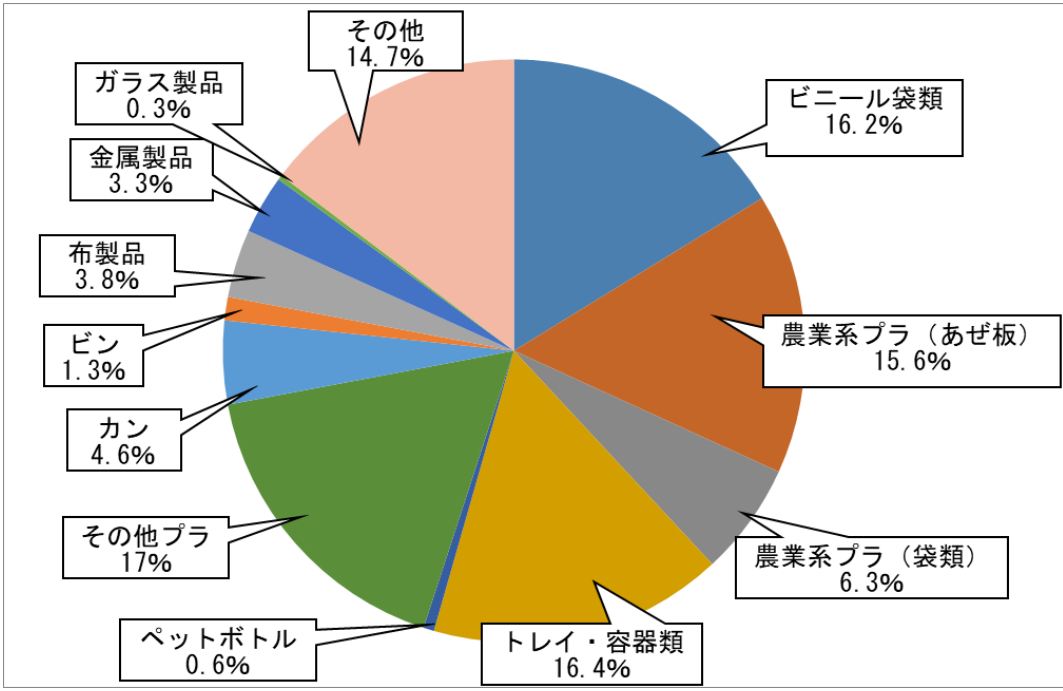
【調査の目的】

赤野井湾は、市内の8河川が流入しており、河川を通してごみ流れ込むことによる湖底ごみの堆積が問題となっている。このことから、湖底ごみを除去し、ごみの量や種類を分析することで、近年問題となっているマイクロプラスチックの削減対策等を検討するため実施するものである。

分類	重量 (kg)	割合 (%)	数量
ビニール袋類	24.9	16.2%	400
農業系プラ (あぜ板)	23.9	15.6%	180
農業系プラ (袋類)	9.6	6.3%	30
トレイ・容器類	25.1	16.4%	89
ペットボトル	0.9	0.6%	18
その他プラ	26.1	17.0%	
カン	7.1	4.6%	136
ビン	2	1.3%	10
布製品	5.8	3.8%	5
釣具・漁具	0	0.0%	
金属製品	5	3.3%	10
ガラス製品	0.4	0.3%	1
可燃ごみ	0	0.0%	
その他	22.6	14.7%	
合計	153.4	100%	879
プラスチックごみ	110.5	72.0%	717
その他	42.9	28.0%	162

【調査結果】

- ・ 153.4kg (材木・流木を除く。)のごみを分析。(前年度調査：620.5kg)
- ・ 全体のうち、プラスチックごみの重量は110.5kg で約72%を占める。(前年度調査：620.5kg 72.4%)



【全体重量】
153.4kg
(材木・流木を除く)
199.9kg
(材木・流木を含む)

- 【作業工程】
- ①作業地点（法竜川河口）へ移動。
 - ②胴長を着用し、レーキを用いて湖底ごみを回収。
 - ③ポンプ、ブラシを用いてごみを洗浄。
 - ④洗浄したごみを各分類に分別し重量測定。

当日は琵琶湖の水位が低かったため、大きなトラブルなく湖底ごみ回収することができました



①作業地点へ移動



②湖底ごみ回収



③ごみ洗浄



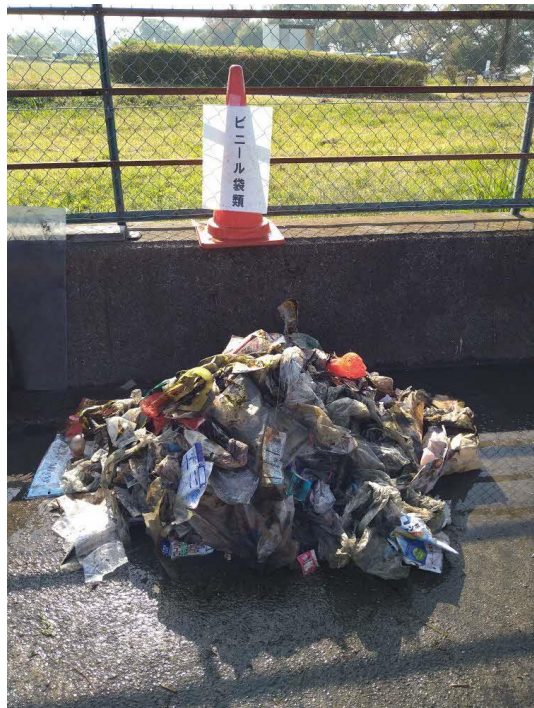
④分類ごとに分別し重量測定



農業系プラ
(あぜ板)



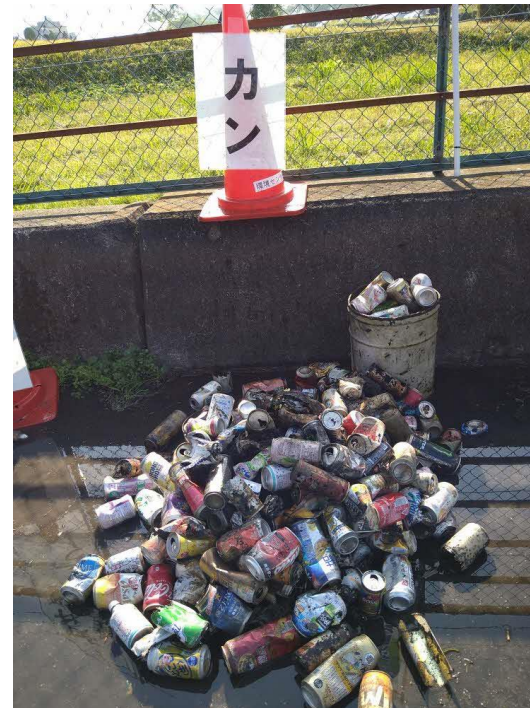
農業系プラ
(袋類)



ビニール袋類



ペットボトル



カン



トレイ・容器類